

取扱説明書





このたびは、作業サポート付きコードリーダーSK-8412をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえで ご使用ください。

もくじ

安全上のご注意 1
使用上のご注意 4
構成部品一覧 5
本体各部の名称と働き 6
仕様・ご使用になる前に
ユーザー登録とアップデート
1. ユーザー登録8
2. アップデート
準備
1. 接続 ·······11
2. 機能説明
設定
1. 言語の設定
2. コントラストの設定
3. 時計の設定13
本体 ID
本体情報の確認13
診断
1. 故障コードの読取
2. 故障コードの消去
3. データモニタ15
4. 監視システムのテスト値16
データ保存
1. 故障コードの保存
2. データモニタの保存17
履歴
1. 故障コードの再生
2. データモニタの再生
3. 保存データの消去

その他の操作	
1.「全自己診断」の故障コードの読取	20
2.「全自己診断」の故障コードの消去	22
3. 全自己診断のデータ保存	23
4. 作業サポート	23
5. カスタマイズ	25
メンテナンスモード	
メンテナンスモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
DPF 強制再生	
DPF 強制再生	28
愛車診断レポートの作成	30
トラブルシューティング	32
品質保証規定	37
お問い合わせ・修理品の送付先	37
ホームページのご案内	37

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく お使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で 区分し、説明しています。

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」 警告 内容です。 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または 🔨 注意 物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



安全上のご注意(必ずお守りください。)

▲ 警告	
ギアがパーキング (MT車の場合ニュートラル) になっていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の 原因となります。	0
サイドブレーキが確実に引かれていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の 原因となります。	0
小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	0
作業サポートおよびカスタマイズは、カーメーカー発行の整備マニュアルにより 作業内容を十分理解した上で、正しい手順で行なうこと 使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れが あります。	0
本体に供給する電源電圧は32V以下とする 破壊、感電、発火する場合があります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
ぬらしたりしない 火災や感電の原因となります。	
故障のまま使用しない 画面が表示されない、スイッチが操作できないなどの故障の状態でご使用しないで ください。すぐにご使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。	\bigcirc
USB端子を指で触れたり異物を入れない 事故や感電、火災、本製品の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置 しない 火災や感電、故障などの原因となります。	\bigcirc
運転者は運転中にこの製品を使用しない 交通事故の原因になります。 運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてから使用して ください。	\bigcirc
異常のまま使用しない 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐにご使用を中止してください。 また、お買上げの販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。	\bigcirc

安全上のご注意(必ずお守りください。)



▲ 注意	
本製品を長期間使用しない場合は車両から取り外す 車両バッテリーの消耗および発火の原因となります。	0
本体画面表示部をたたいたり、強く押したり傷をつけたりしない 画面表示部の故障、破損の原因となります。	\bigcirc
本体やケーブルが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように 注意する ショートや断線により、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因と なります。	
本体やケーブル類が、排気部等のエンジンの高温部分に触れないように注意する 事故、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	Â

使用上のご注意

- ●端子部分にエンジンオイルなどを付着させないでください。接触不良の原因となります。
- ●エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリ液を本体に付着させないでください。 本体表面の変質の原因となります。
- ●アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。
- ●イグニッションキーONの状態でOBDⅡコネクターを抜かないでください。故障の原因となります。
- ●気温0℃~50℃、湿度85%以下の環境でご使用ください。
- ●ケーブルの被覆が破れた場合は、ショートのおそれがありますので、ご使用を中止し新しいものに 交換してください。
- ●本体は防水されていませんので、水に濡らさないでください。

取り扱いについて

●衝撃を与えないでください。

本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。

●ケーブルを無理に引っ張らないでください。

OBD II コネクターやUSBケーブルを外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の 原因となります。外す際は、コネクターを持って外してください。

保管場所について

- ●下記の場所には保管しないでください。
 - 水のかかるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・気温-20℃以下70℃以上、湿度85%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ

構成部品一覧(ご使用前に必ずご確認ください。)

本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用の前にご確認ください。 万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

①SK-8412本体…1台



②OBD II ケーブル(型式:673)…1本



③USBケーブル(型式:674)…1本

④キャリングケース(型式:1024)…1個



⑤クイックスタートガイド…1枚





本体各部の名称と働き



仕様

本体仕様	
①表示部(LCD)	2.8インチ (320RGB 240pixels) TFTカラー液晶
2 0 S	FreeRTOS
③操作ボタン	$ENTER / EXIT / \uparrow / \downarrow / \rightarrow / \leftarrow$
④標準 I / F	CAN (ISO-11898, ISO-11519)
	K-Line / L-Line(ISO-9141, ISO-9141-CARB, KWP2000)
	Generic (pull-up, UART×2), DDL, MMC
⑤PCI / F	USB2.0 (OTG) high-speed
6 CPU	ARM Cortex M4 180MHz
⑦ROM (OS)	512KB
8 ROM (AP)	4GB (micro SDHC)
9 RAM	128KB+32MB
⑩内蔵電池	CR1225 (Lithium)
⑪電源電圧	DC10~32V
^① 使用温湿度範囲	0℃~50℃、20%~85%rh(ただし結露のないこと)
③保存温湿度範囲	-20℃~70℃、20%~85%rh(ただし結露のないこと)
⑭寸法	$160 \text{mm}(\text{H}) \times 90 \text{mm}(\text{W}) \times 27 \text{mm}(\text{D})$
⑮重量	147g

※製品仕様および外観は予告なく変更することがあります。

ご使用になる前に

●本製品の製造出荷時は、本体前面の操作 パネルに保護フィルムが貼られています。 製品をご使用になる前に、保護フィルムを 剥がしてください。



ユーザー登録とアップデート

出荷時に診断ソフトはインストールされていません。

ご使用前に必ずユーザー登録を行った上で、最新ソフトへアップデートを行ってください。

- 1. ユーザー登録
- SK-8412 とパソコンを付属の USB ケーブルで 接続します。



パソコンの画面に自動再生が表示されます。 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリック してください。



⑤「sk-8412.exe」(アプリケーション)を起動して
 〔登録内容変更〕ボタンを押します。



 ④「ユーザー登録につきまして」(プライバシーポ リシー)が表示されます。内容をよく理解して
 [同意する]ボタンを押します。



●「ユーザー登録」画面が表示されますので、 各入力欄にお客様の情報を入力し[送信] ボタンを押します。

ユーザー登録	×
お名前	電話
00 44	XXX-XXX-XXXX
会社名	ファックス
○○自動車	XXX-XXX-XXXX
購入店名	メールアドレス
000	xxx@xxx.co.jp
住所	
〒 1234567	
00県00市00町	
0丁目00番地	送信中止



ユーザー登録画面の入力欄は全て入力してください。 未入力欄があると送信できません。 (個人の場合は、会社名の欄にお名前、ファック スの欄は電話番号を入力してください。) また、メールアドレスを間違えると「登録受付メール」

が届きませんので、間違えないように必ず半角英数 文字で入力してください。入力が正しくないと同様 に「送信できません」のメッセージが表示されます。

ユーザー登録とアップデート

 送信が完了すると入力したメールアドレスに 「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録 受付メール」が届きます。メールを開いて本文 にあるリンクをクリックしてください。

> 登録認証確認 下記リンクをクリックすると認証が完了します。 http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey

エラー:メールが届かない ●メールアドレスの間違いや「迷惑メールフォルダ」 などを確認してください。

- ●混雑状況により、メールの配信に時間がかかる 場合があります。
- ●リンクをクリックするとご使用のブラウザで認証 完了したシリアル番号とアップデート期間が表示 されます。
 - (アップデート期間は登録日より1年間です。)





Hint

エラー:アップデート期間が表示されない

- ●「登録受付メール」をもう一度確認してください。 ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」 が配信されますので、最新の「登録受付メール」 のリンクをクリックして下さい。
- メールをブラウザでご覧になると、うまく表示できない場合があります。その場合はメールソフトでメールを確認してリンクをクリックしてください。

以上でユーザー登録が完了しました。 続いてアップデート(10ページ)にお進みください。

●登録内容の変更について

使用者(会社)やメールアドレスに変更がある場合はユーザー 登録内容の変更を行ってください。 登録内容変更は、最初のユーザー登録と同じ手順で行います。 ※変更があった欄だけでなく、入力欄は必ず全て入力してくだ さい。未入力欄がありますと送信できません。

※1. 自動再生が機能しない場合

パソコンの設定で自動再生が機能しない場合は 手動でパソコンのドライブを開き、下記の手順で 「sk-8412.exe」を実行する必要があります。

 ● Windows8/8.1/10 の場合は、画面下のツール バーから「エクスプローラー」をクリックします。 またはスタートボタン(■)を右クリック→ 「エクスプローラー」をクリックします。 (Windows7 の場合は[スタート]→[コン ピューター]をクリックします。)



 [SK-8412] をクリックして「sk-8412.exe」を ダブルクリックして起動します。



ユーザー登録とアップデート

ユーザー登録に続いてアップデートを行う場合は、以下の手順❸から行ってください。

2. アップデート

 SK-8412 とパソコンを付属の USB ケーブルで 接続します。



2 パソコンの画面に自動再生が表示されます。 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリック してください。



⑤「sk-8412.exe」(アプリケーション)を起動して [アップデートチェック] ボタンを押します。



 アップデートが始まり、ソフトが SK-8412 に 書き込まれます。



1 Hint

エラー:アップデートが始まらない

- ●インターネット接続が正常ではない。
 ●セキュリティソフトでブロックされている。
 ⇒セキュリティソフトのメーカーにお問い合わせ ください。
- ●社内ネットワークでブロックされている。
- ●しばらくアップデートを行っていない。
 ⇒「トラブルシューティング」(32 ページ)を
 参照してください。

「アップデート完了」が表示されましたら、
 「OK」をクリックしてパソコンから SK-8412 本体を取り外してください。

sk-8412	×
לעק 🚺	デート完了
	ОК



・パソコン側からハードウェアの取り外しを指示してから、本体とパソコンの接続を解除してください。

エラー:「書き込みできません」が表示される。 ⇒「トラブルシューティング」(32 ページ)を 参照してください。

準備

! Hint ●ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
●本体やケーブルに破損や損傷などがないか確認してください。
●診断は基本的にイグニッション "ON"の状態で行ってください。
●診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが ON であるか確認してください。
●診断を終了する際は「メインメニュー」画面まで戻りイグニッションを OFF にして取外してください。

1. 接続

 車両がイグニッション OFF であることを確認 して SK-8412 を接続しイグニッション ON に します。



2 メインメニューが表示されます。



2. 機能説明

● メニューを選択します。(左❷の画面)
 各機能説明を参考にメニューを決定してください。

	診断 車両の DTC 読取・消去などを 行います。 解説:14~16 <i>ページ</i>
X	メンテナンスモード メンテナンス機能 (バッテリー交換 やオイル交換など) が集約され ています。 解説:27 ページ
	DPF
= <u></u> -)) DPF	画面表示に沿って、複雑な DPF 強制再生を一連の流れで行えます。
	解説:28 ページ
REPLAY	履歴 保存したデータの再生および消去 ができます。 解説:18~19ページ
	設定
¢	言語切替えなどの本体設定を変更 できます。 解説:12~13 ページ
	本体 ID
id	本体 ID(シリアル番号)、ダウン ロードおよび保証期間を確認で きます。 解説:13ページ

設定



言語切替えなどの本体設定を 変更できます。

- ※ OBD II ケーブルで SK-8412 を車両と接続した 場合に実行できます。
- 1. 言語の設定
- ●「設定」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



❷「言語」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



❸上下矢印ボタンで言語を選択して [ENTER] ボタンを押して確定します。



- 2. コントラストの設定
- ●「コントラスト」を選択して [ENTER] ボタンを 押します。



② 上下矢印ボタンで 10%、左右矢印ボタンで 1% ずつ調整できます。調整後、[ENTER] ボタン を押して確定します。

-n Ex	Batt: 12.31 V 定
コント	、ラスト
·	
70) %
 ENTER:確定 / E	EXIT:キャンセル

設定

3.時計の設定

●「時計」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



2上下矢印ボタンで変更、左右矢印ボタンで カーソルが移動します。設定後[ENTER]ボタン を押して確定します



本体ID



本体 ID (シリアル番号)、アップデート および保証期間を確認できます。

1. 本体情報の確認

●「本体 ID」を選択して [ENTER] ボタンを押し ます。



2本体情報が表示されます。



診断



故障コードの読取やデータモニタなど を行います。

1. 故障コードの読取

※OBD II ソフトの場合

●「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



2「OBDⅡ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。

	Batt: 12.27 V	
メーカー選択		
OBDII	グローバルOBDII	
国産乗用車	レディネステスト	
 ENTER:選択	EXIT:戻る	

③「グローバル OBD II」を選択して [ENTER] ボタン を押します。

Batt: 12.27 V		
メーカー選択		
OBDII	グローバルOBDII	
国産乗用車	レディネステスト	
 ENTER:選択	 EXIT:戻る	

 ④ OBD II 規格を搭載したコントロールユニットを 検出します。ユニットを選択して [ENTER] ボタン を押します

	Batt: 12.30 V
ECU 選択	
ECM-EngineControl (\$10)	
ENTER:選択 EXIT:房	₹3

⑤「故障コードの読取」を選択して [ENTER] ボタン を押します。



● 故障コードと内容が表示されます。 内容が全文表示されていない場合は [ENTER] ボタンを押すと全文表示されます。



診断

2. 故障コードの消去

※OBD II ソフトの場合

 「故障コードの消去」を選択して [ENTER] ボタン を押します。



2 消去の実行は [ENTER] ボタンを押します。 消去はイグニッション ON で行います。



③ 消去が完了すると以下の画面が表示されます。 [EXIT] ボタンを押して戻ります。



! 消去できない場合は、現在も故障が発生しており、 現在故障としてコードがメモリされている可能性が あります。 3. データモニタ

※OBDIソフトのみ

●「データモニタ」を選択して [ENTER] ボタン を押します。



「リスト表示」または「グラフ表示」のいずれか を選択して [ENTER] ボタンを押します。

Batt: 12.31
データモニタ
リスト表示
グラフ表示
ENTER:選択 EXIT:戻る

③表示選択項目が表示されます。 全項目にチェックが入った状態で表示されます。 [開始]を選択して[ENTER]ボタンを押すとチェック が入っているすべての項目が表示されます。



[速択・解除]→1項目9つ変更でぎま9。 [すべて選択] → すべての項目が選択されます。 [すべて解除] → すべての項目が解除されます。



1項目ずつ変更する場合は、左右ボタンで [選択・ 解除] にカーソルを合わせてから上下ボタンで 変更したい項目に合わせて [ENTER] ボタンを 押します。[ENTER] ボタンを押す度に選択、解除 が切替わります。

診断

④ 選択した項目が表示されます。
 (図はリスト表示の場合)

		Batt: 12.30 V
デ	データモニ:	<u> </u>
エンジン回転数	र ।	O RPM 🗎
スロットル開度		16.9 %
マニホールト・圧		100.0 kPA
点火時期 #1		0.00 °
エンジン水温		25 ° C
車速		0 km/h
負荷計算値		0.0 %
MIL		OFF 🗖
A	データ保存	•

[上下] ボタンで1項目ずつ表示がスクロール します。

- 左右ボタンでカーソルを画面下左右の
- ボタンに合わせ、選択いただくと ページの移動ができます。

	Pake, 12 20 U
	ے Dall; 12,20 v
テータモニ	Я
MIL	OFF 🖆
過去故障	0
失火モニタ	COMPLETE
燃料系モニタ	COMPLETE
構成部品モニタ	COMPLETE
触媒モニタ	NOT COMPL
加熱触媒モニタ	NOT SUPP
エハ [®] 木 [®] ハ [®] ーシ [®] モニタ	NOT SUPP
▲ データ保存	7



リスト表示画面では「データ保存」ができます。 保存したデータは「履歴」から閲覧することができ ます。詳しくは 18 ページをご覧ください。

下図はグラフ表示の場合です。 最大2項目の選択、表示となります。



※ グラフ表示では保存はできません。

- 4. 監視システムのテスト値 * OBD エソフトのみ
- ●「監視システムのテスト値」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



テスト表示項目を選択して [ENTER] ボタンを 押します。

	Batt: 12.31 V
監視システムのテスト値	
O2センサモニタ B1S1	
02センサモニタ B1S2	
触媒コンバータ B1	
VVT ELA B1	
シリンダー1 ミスファイア検知	
シリンダー2 ミスファイア検知	
シリンダー3 ミスファイア検知	
	まる しんしょう しょうしょう

- ※ 車両によっては「サポートしていません」が表示され ます。
- 3 選択した項目のテスト値が表示されます。

				E	Batt: 12.31 V
シリン	<u>ک</u>	-1 3	ミスファイア検タ	ŧ۵	
ミスファイア検チ	0;	E₩N	現在値:	0	counts
ミスファイア検矢	Ο;	かい	最小值:	0	counts
			最大値:	0	counts
	F	XIT	一 戸 ろ		

タ保存

1. 故障コードの保存

※OBD II ソフトの場合

● 故障コード一覧から選択して「ENTER] ボタン を押します。



2 詳細表示画面から [データ保存] を選択して 「ENTER] ボタンを押します。



3 データが保存されると保存されたファイル名 (例:OBDI DTC-002) が表示されます。





保存したデータは「履歴」から閲覧することができ ます。詳しくは 18 ページをご覧ください。

2. データモニタの保存

※OBDIIソフトの場合

● データモニタ表示画面から「データ保存]を 選択して「ENTER」ボタンを押します。

		Batt: 12.30 V
Ę	データモニ:	夕
エンジン回転娄	攵	O RPM 🖀
スロットル開度		16.9 %
マニホールド圧		100.0 kPA
点火時期 #	1	0.00 °
エンジン水温		25 ° C
車速		0 km/h
負荷計算値		0.0 %
MIL		OFF 🗖
	データ保存	•

2 データの保存が開始されます。 [ENTER] または [EXIT] ボタンを押すまで保存 し続けます。ボタンを押すと保存を終了します。

Batt: 12.31 V データモニタ
データを保存しています
00:01.34
ENTER/EXIT:終了

③データが保存されると保存されたファイル名 (例:OBDI_Datastream-008) が表示され ます。



履歴



保存したデータの再生および消去が できます。

- 1. 故障コードの再生
- ●「履歴」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



❷「再生」を選択して [ENTER] ボタンを押します。

			Batt: 12.34 \
	履	萨	
再生			
削除			
ENTER :	:選択	EXIT:	戻る

③表示するファイルを選択して [ENTER] ボタン を押します。

(「XXX_DTC_XXX」が故障コード保存データ です。)

Batt: 12.29 V
レポートファイルを選択してくださし
OBDII_DTC-001
OBDII_DTC-002
OBDII_DTC-003
OBDII_DTC-004
OBDII_DTC-005
OBDII_DTC-006
OBDII_DTC-007
OBDII_DTC-008
ENTER:選択 EXIT:戻る

④ 保存したデータのシステムが表示されますので、
 選択して [ENTER] ボタンを押します。

		Batt	: 12.27 ¥
診断結	果		
ECM-EngineControl	(\$10)) - 1	I DTC
ENTER:選択 E	EXIT:	戻る	

●保存したデータが表示されます。

	Batt: 12.28 V
	故障コードの読取
過去故障	章(1)
U0155	インストルメント・ハ°ネル・クラスタ(IPC)
ENTE	R:詳細 EXIT:戻る

履歴

2. データモニタの再生

- ●「履歴」メニューから「再生」を選択して [ENTER] ボタンを押します。(18ページ参照)
- 表示するファイルを選択して [ENTER] ボタン を押します。

(「XXX_DATASTREAM_XXX」がデータモニタ 保存データです。)

Batt: 12.29	۷
レポートファイルを選択してくださ	ι
OBDII_DATASTREAM-001	÷
OBDII_DATASTREAM-002	
OBDII_DATASTREAM-003	
OBDII_DATASTREAM-004	
OBDII_DATASTREAM-005	
OBDII_DATASTREAM-006	
OBDII_DATASTREAM-007	
OBDII_DATASTREAM-008	Ŧ

③表示項目選択が表示されます。表示したい項目の選択を行った後、開始を選択して[ENTER]を押してください。保存データが表示されます。 左右矢印ボタンを押すと、保存したデータがコマ送りで表示できます。

	Batt: 12.34 V
ECM-Enginl (S	\$10)
エンジン回転数	O RPM 🖺
ᄭットル開度	16.9 %
╶ニホールド圧	100.0 kPA
点火時期 #1	0.00 °
エンジン水温	25 ° C
車速	0 km/h
負荷計算値	0.0 %
MIL	OFF 🗖
00:00.00	-



────────────────────────────────────	
エンジン水温	20 U
車速	0 km/h
負荷計算値	0.0 %
MIL	OFF 🗖
<00:10.14	>

- 3. 保存データの消去
- ●「履歴」メニューから「削除」を選択して [ENTER] ボタンを押します。

Batt: 12.27 V
履歴
再生
削除
ENTER:選択 EXIT:戻る

②[選択・解除][全て選択][全て解除]を選択して削除するファイルに☑を入れます。

						Batt: 12.3	1 V
ィポ	<u>- </u>	ファイ	イルを	選択	して	くださ	էլ
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	01		÷
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	02		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	03		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	04		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	05		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	06		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	07		
	OBDI	I_DA	TASTE	REAM-C	08		•
ļ	馳	選択	.解除	全て選	択 [1	全て解除	余

 [開始]を選択して [ENTER] ボタンを押して削除 を実行します。

						Batt: 12	2.31 V
゚゚゚゚゚゚゚		7 7 7	ルを	選択	して	くだ	さし
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	001		^
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	002		
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	003		
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	004		
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	005		
	OBDI	I_DAT	ASTF	REAM-	006		
	OBDI	I_DAT	ASTE	REAM-	007		
	OBDI	I_DAT	ASTF	≀EAM-	800		-
開	抛	選択.角	解除	全て道	選択	全て解	窷

④ 保存データが削除されました。

	Batt: 12.34 V
	_
削除しました。	
EXIT:戻る	

1.「全自己診断」の故障コードの読取

各メーカーソフトで診断方法が異なります。 以下はトヨタ診断ソフトの例です。

●「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



 メーカー選択画面から「トヨタ / レクサス」を 選択して [ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.27 V
メーカ	一選択
OBDII	トヨタ/レクサス
国産乗用車	日産/インフィニティ
	ホンダ/アキュラ
	三菱
	スズキ
	ダイハツ
	マツダ
	スバル
ENTER:選択	EXIT:戻る

❸「地域設定」画面から地域を選択して [ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.28 V
地域設定	
日本	
北米	
区欠小小	
その他	
ENTER:選択 EXIT:戻	5

④「自動検出」を選択して [ENTER] ボタンを 押します。

			Batt: 12.34 V
	車両	選択	
自動検出			
手動選択			
ENTER	:選択	EXIT:	戻る

●「ブランド」「車名」「型式」等を [ENTER] ボタンを押して順に選択していきます。

	ブラ	ンド	Batt: 12.27 V
TOYOTA			
ENTE	ER:選択	EXIT:	戻る

●トヨタ診断ソフトのメインメニューが表示されます。「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



●「全自己診断」を選択して [ENTER] ボタンを 押します。

	Batt: 12.30 V
システム選択	
全システム	
パワートレイン	
シャシ	
ボデー	
全自己診断	
ENTER:選択 EXIT: 6	更る

③車両の各システムの故障コードを自動で読取ります。



- 全自己診断完了の画面です。
 - 各システムの故障コードの有無は「診断結果」 を選択して [ENTER] ボタンを押します。



● 診断結果が表示されます。



故障コードがない場合は「OK」が表示されます。 故障コードがある場合はメモリされている数が 表示されます。

故障コードの確認はシステムを選択して [ENTER] ボタンを押します。 ①「故障コードの読取」を選択して [ENTER]ボタンを押します。



F細表示されま	9	0	

				Batt: 1	2.30 V
	故障コー	ドの読明	<u>7</u>		
現在故障	章(1)	し過去な	友障	(1)	
P1604	始動不	良			
ENTE	R:詳細	e EXIT	:戻	5	

● 詳細表示画面では「データ保存」ができます。





保存したデータは「履歴」から閲覧することができ ます。詳しくは 18 ページをご覧ください。

2.「全自己診断」の故障コードの消去

各メーカーソフトで操作方法が異なります。 以下はトヨタ診断ソフトの例です。

● 全自己診断完了画面から「全自己診断の消去」 を選択して [ENTER] ボタンを押します。



②[ENTER] ボタンを押して実行します。 消去はイグニッション ON で行います。



❸ 各システムの故障コードを消去していきます。



④ 全自己診断の消去が完了すると、全自己診断 完了画面に戻ります。



●「診断結果」から全てのシステムが「OK」に なっていれば消去完了です。

Batt: 12.32 V
診断結果
エンジン - OK
クルーズコントロール - OK
ABS- VSC- TRC - OK
電動パワステ - OK
A/C - OK
エアバッグ - OK
メータ - OK



消去できない場合は、現在も故障が発生しており、 現在故障としてコードがメモリされている可能性が あります。

3. 全自己診断のデータ保存

各メーカーソフトで操作方法が異なります。 以下はトヨタ診断ソフトの例です。

● 全自己診断完了画面から「データ保存」を選択 して [ENTER] ボタンを押します。



2 データ保存中です。



 データが保存されると保存されたファイル名 (例:Toyota_DTC-002)が表示されます。





4. 作業サポート

注意:作業サポートは、カーメーカー発行の整備 マニュアルにより作業内容を十分理解した上で、 正しい手順で行ってください。

各メーカーソフトで操作方法が異なります。 以下はホンダ車の「カーボン堆積補正値クリア」 の例です。

●「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



 メーカー選択画面から「ホンダ / アキュラ」を 選択して [ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.27 V	
メーカー選択		
OBDII	トヨタ/レクサス	
国産乗用車	日産/インフィニティ	
	ホンダ/アキュラ	
	_三菱	
	<u>スズキ</u>	
	ダイハツ	
	マツダ	
	<u>スバル</u>	
ENTER:選択	 EXIT:戻る	

③ホンダソフトが起動して車両の検出が始まります。



④ 車両が検出されました。

[ENTER] ボタンを押して次へ進みます。



⑤「作業サポート」を選択して [ENTER] ボタン を押します。



● 目的に応じてどちらか選択します。



⑦「PGM-FI」(エンジン)を選択して [ENTER] ボタンを押します。



⑤「カーボン堆積補正値クリア」を選択して [ENTER] ボタンを押します。

Batt: 12.32 V
PGM-FI サポート
ECU リセット
インジェクタ気筒別停止
アイドリングストップスタータ始動
アイドリングストップスタータ始動回数クリア
アイドリングストップスタータ始動回数強制書
カーボン堆積補正値クリア
クランクパターンクリア
<u>クランクパターン学習</u>
ENTER:選択 EXIT:戻る

● 機能説明が表示されます。 確認して [ENTER] ボタンを押します。



実行可能条件が表示されます。
 確認して [ENTER] ボタンを押します。



❶ リセット実施中です。



☑ 正常に完了しました。

[ENTER] ボタンを押して終了します。



5. カスタマイズ

カーメーカー発行の整備マニュアルにより作業内容 を十分理解した上で、正しい手順で行ってください。 カスタマイズ機能はメーカーにより異なります。 以下はトヨタ車の「フラッシャ音量調整」の例です。

● 20ページを参考にトヨタ診断ソフトのメイン メニューまで進みます。

「カスタマイズ」を選択して [ENTER] ボタンを 押します。



注意事項が表示されます。
 確認して [ENTER] ボタンを押します。

Batt: 12.34 V 重要!!
この機能は車両の状態によって設定 変更出来ない場合やECUにダメージ を与える可能性があります。
同意した上、 自己責任で行って下さい。
ENTER:同意する EXIT:同意しない

S 「New」(新規で実行する項目)と「Previous」
 (過去の履歴)が表示されます。通常は
 「New」を選択して[ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.28 V
カスタマイズ	
カスタマイズ [New]	
カスタマイズ [Previous]	
ENTER:選択 EXIT: 6	ਵ ର

❹ カテゴリー別に表示されます。

「ウォーニング」を選択して [ENTER] ボタンを 押します。



●「フラッシャ音量調整」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



6 現在の設定が表示されます。

上下矢印ボタンで選択後 [ENTER] ボタンを 押して決定します。

Batt: 12.31 V
フラッシャ音量調整
現在の設定:
中 小 大
▲▼ : 番号選択
ENTER:決定 EXIT:キャンセル
Batt: 12.31 V フラッジャ音量調整
現在の設定:
中 小 大
▲▼ : 番号選択
ENTER:決定 EXIT:キャンセル

∂ 設定が変更されました。

[ENTER] または [EXIT] ボタンを押して終了 します。



※ 車両により「設定を変更しました。」と表示 されます。

メンテナンスモード



よく使うメンテナンス機能(バッテリー 交換やオイル交換など)が集約されて います。

1. メンテナンスモード

各メーカーソフトで診断方法が異なります。 以下はトヨタ車の「HV 整備モード」の例です。

「メンテナンスモード」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



❷「トヨタ」を選択して[ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.30 V
メーカ	ー選択
トヨタ	HV整備モード
日産	ISSバッテリ交換
ホンダ	オイル関連交換
三菱	ブレーキ関連交換
スズキ	タイヤ交換
ダイハツ	EPB整備モード
マツダ	
スバル	
ENTER:選択	EXIT:戻る

③「HV 整備モード」を選択して [ENTER] ボタン を押します。

	Batt: 12.28 V
メーカ	ー選択
トヨタ	HV整備モード
日産	ISSバッテリ交換
ホンダ	オイル関連交換
三菱	ブレーキ関連交換
スズキ	タイヤ交換
ダイハツ	EPB整備モード
マツダ	
スバル	
ENTER:選択	EXIT:戻る

機能説明が表示されます。
 確認して [ENTER] ボタンを押します。



●実行可能条件が表示されます。 確認して [ENTER] ボタンを押します。

	Batt: 12.28 V
整備モード	
以下の条件を確認して下さ	い。
- IG ON	
– READY OFF	
- HV関連のダイアグコード	が
検出されていない	
ENTER:次へ EXIT:ロ	₽止

● 整備モード選択メニューが表示されます。目的に応じた項目を選択して[ENTER]ボタンを押します。(排ガス測定用を実行するとTRC禁止も同時に行われます。)

Batt: 12.27 V
移行する整備モードを選択して下さい
2WD(排ガス測定用)
2₩D(TRC禁止用)
4WD(排ガス測定用)
4₩D(TRC禁止用)
ENTER:選択 EXIT:戻る

 を備モードへ移行しました。
 ブレーキペダルを踏んで、イグニッションスイッチ
 を押してエンジンを始動します。



[※]整備モードのままで路上を走行されますと、トランスアクスルを破損する 場合があります。走行される際は整備モードを解除してください。

DPF強制再生



画面表示に沿って、複雑な DPF 強制 再生を一連の流れで行えます。

- 1. DPF 強制再生
- ●「DPF」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



❷メーカーを選択して [ENTER] ボタンを押します。

メーカ	Batt: 12.28 V ー選択
しすゞ	DPF点検
日野	
三菱ふそう	
UDトラックス	
 ENTER:選択	 EXIT:戻る

③ 車両を選択して [ENTER] ボタンを押します。



④ 作業内容を確認して[ENTER]ボタンを押します。

Batt: 12.32 V
DPF点検の作業内容
 - 故障コード消去 2. 故障コード読取 3. DPF関連データの表示 4. DPFデータリセット「任意実行」 5. DPF強制再生 6. 強制再生後のDPF関連データ表示
ENTER:次へ EXIT:中止

● DPF 再生前の関連データが表示されます。 確認して [次へ] ボタンを押します。

		Bati	:: 12.34 V
DPF関連デー	夕モ	티그오	
エンジン回転数		600	rpm
排気温度(上流)		13	0°C
DPF圧力差		0	k Pa
排気圧力		103	k Pa
水温		8	5°C
次へ	र्न`−ष्र	保存	

₲ ECU をリセットします。 画面表示を確認して [ENTER] ボタンを押します。



●DPF 強制再生の注意事項が表示されますので、 確認して [ENTER] ボタンを押します。



DPF強制再生

③DPF 強制再生を実行します。

画面表示を確認して [ENTER] ボタンを押します。

_{Вәtt: 12.27 v} DPF強制再生
DPF強制再生
[確認事項] - エンジン始動 - エンジン暖気(水温60℃以上) - 燃えやすい物を排気管付近に置か ないで下さい。
ENTER:実行 EXIT:中止

②DPF 再生後の関連データが表示されます。 確認して [終了] ボタンを押します。

		В	att:	12.28 V
DPF関連デ-	- タ=	Eニタ		
エンジン回転数		60)0	rpm
排気温度(上流)		Ę	562	2°C
DPF圧力差			0	kPa
排気圧力		11	5	kPa
水温			85	5 °C
終了	データ	保存		

●作業が完了しました。



愛車診断レポートの作成

本体に内蔵されている「Diag Printout」を使用 することで、保存した DTC(17 ページ参照)と お客様情報をまとめた愛車診断レポートを作成 できます。

- 10 ページの①-②を行って「SK-8412」フォル ダを開きます。
- **2**「DiagPrintout」フォルダを開きます。



③「DiagPrintout.exe」をダブルクリックして起動 します。



④[自社情報]をクリックして自社情報画面を開き、 情報を入力して [OK]をクリックします。

		Ver10
重可情報		
お客様	8	
メーカ	-	
(0.1	11	
登録音	4	
車台番	F	
車両型	75	
		例77 開K
含紙ファイル		
10157-4	IL	(
桥了		
M7		
桥了		
林丁 情報 会社名	○○自動重	
桥了 村富盛 会社名 担当者	СОА ФЕ ОО ДД	
桥了 计请報 会社名 担当者 郵便委号	○○自約車 ○○ AA 123-4567	
桥了 桥了 台湾部 金社名 担当者 新興委号 住所	○○自動重 ○○ AA 123-4567 ○○県○○市○○町○○	●注論相 印刷 ● TECO#地
桥了 村田田 金社名 担当者号 住所 電話番号	○○合約重 ○○ △△ 123-567 ○○県○○赤○○町○○ 300-300-3000(● 日注論報品 目前の一 目前の一 目前の一日 目前の一日 日本(100-700<-7000K)
統了 統了	○○台動重 ○○ 点点 123-567 ○○用○○市○○町○○ 2001-2005(2000) 2001-2005(2000)	ERLINE. EIG TEOO#地 FAK 1000-2036-3000K
読了 読了 (情報 会社名 和当者号 住所 電話番号 メール 使用テスタ	 ○○自動重 ○○ 点ム 123-4567 ○○県○○市○○町○○ 2005-20067 2005-2007 <	ENLINE. 印刷. 町一 町一 丁目のの番地 FAX 100-3036-3300X

⑤車両情報を入力して [保存] をクリックします。

				Vor.10.0
南川の川英市民				
力客標名	00 44			
メーカー	135			
車種	プリウス			
登禄番号	OC303巻1234			
車台番号	1234567			
重击型式	DAA-ZVW50			
		517	R K_	(¥荐_
診断アイル				
記数ファイル				=
1. ACCES-				

⑤「名前を付けて保存」画面が表示されますので、 PCもしくは SK-8412 内部に保存場所(フォルダ) を作成し、任意の名前を付けて[保存]をクリック してください。

🕒 🗸 🖬 🖓 🛃 🖓 🚱	:) + DiagPrintout	+ 4 , D	lagPrintoutの技術	A
望程 * 新しいフォルター	-		(H •	
🙀 お気に入り	4 名前	*	更新日時	
📁 ອາໄລ້ອນ		#菜品体に一肚する頃	目はわりません。	
● コンピューター				
SK-0412 (F:)				
77-11/8(N): 00 △	△様プリウス			
ファイルの理論(T): 東南貨板	37-11. (*.vix)			•
😞 フォルターの米表示			保護(5) キャン1	сл

愛車診断レポートの作成

		Ver1.00
車町債相		
お客横名		
メーカー		
@ 程		
皇孫書号		
車台番号		
車面型式		
	9977	略- (第77-
1995ラッイル		
1985724.04		
桥了		ATTANS.
	Local Control of Contr	
84	•	
월< 같 : SK-8412 (F:)	• Reports • • •	
替く ● ● ● ● ● SK-8412 (F:) 管理 ●	• Reports • 49	ees Separtetitä التا • [1] و
■< ● ● ● ● * SK-8412 (F:) ■理 ● ■しいフォルダー ★ お気に入り	• Reports • 49	Reported to Re III - III @ #REDIT
■く ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● SK6412 (Fc) ■原 ● 新しいフォルダー ☆ あ気に入り	Reports 69 Sill Toyota_DTC-001	
替く ● ● ● ● ● ● ● SK6412 (F:) ■要 ● 新しいフォルダー ★ お気に入り ■ ライブラリ		Reporte 28년
替く ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		Septertre 2014 E = 112 • 112 • 114 E = 114 • 114 2014/09/18 19:10 2014/09/18 19:10 2014/09/18 19:10 2014/09/18 19:10
■< ・ SK6412 (F:) 量理 ・ 新しいフォルター ☆ お気に入り ③ ライブラリ ※ コンピューター	8eports 49 6m 10000 Tayota_DTC-001 10000 Tayota_DTC-003 10000 Tayota_DTC-003 10000 Tayota_DTC-003 10000 Tayota_DTC-003 10000	Reported 558
■ ●	Reports 49 6m 109/x8e_DTC-001 109/x8e_DTC-001 100/x8e_DTC-001 109/x8e_DTC-003 109/x8e_DTC-003 109/x8e_DTC-005 109/x8e_DTC-005 109/x8e_DTC-005 109/x8e_DTC-005	Reports (188) III - III - III - IIII - III - IIII - III - IIII - IIIII - IIIII - IIIII - IIIII - IIIII - IIIIII - IIIIIIIII - IIIIIIIII - IIIIIIII - IIIII - IIIIIIIIII
■< ・ SK6412 (F.) 調理 ・ 新しいフォルダー ※ お気に入り コ ライブラリ ● コンピューター ▲ ローカル ディスク (C.) ロ ポリコーム (F.)	Beparts	Repairts-284 122 - 13 2014/09/18 19:12 2018/09/18 19:13 2018/09/18 16:13 2018/09/18 16:13 2018/09/18 16:13 2018/09/18 16:13 2018/09/18 16:13
替く ●●●●● SIG6412 (F;) 管理 ● ●●● SIG6412 (F;) 管理 ● ●●「フォルダー ☆ お気に入り ■ ライブラリ ■ ライブラリ ■ コンピューター ■ ローカルデイスク(C;) ■ 956412 (F;)	Reports	Septembrie (19) Septembrie (19) Septembrie (19)
 ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	Reports 4y Siff Tayota, DTC-001 Tayota, DTC-002 Tayota, DTC-003 Tayota, DTC-004 Tayota, DTC-005 Tayota, DTC-005 Tayota, DTC-006 Tayota, DTC-007 Tayota, DTC-007	Repairing de la constanting de

⑧印刷したいファイルのファイル名が診断ファイルの欄に表示されましたら、[印刷]をクリックします。

		Ver.10.0.0
而163.99.24		
お客様名	00 44	
メーカー	1-39	
而種	7972	
童绿春号	OC303251234	
車台巷号	1234567	
建向型式	DAA-ZVW50	
	עוע 🗌	際(
音断7ァイル		
13567744	FWReports¥Toyota_DTC-001 aml	

9 印刷のダイアログが表示されましたら、出力する プリンターなどの設定を行い、印刷を実行します。

フリンター フリンター名(N) FUJIXEROX DocuCentre 計称 使爆発了		2011 - 20119-(P)
状態 日 相類 F 場所 II コメント	序确完了 X DocuCentre-VI C2271 P_19216811.10	
印刷版団 の すべて(A)		ED版18900
のページ指定の	∂ ページから(F) ページまで(T)	図 部準位でFIFE(C) 「「」」「」」
CONTRACT IN TRACT	(5)	123 123

⑩愛車診断レポートが出力されます。

J		man - mailer th		
RAME: 00303	B1234	単純: フリウス 市台長見: 123	4567	
all Sut : DAA-71	AV50	123	/08/10	
CRISCH :	1100	and - 2010	100/10	
A COLORADO	ALC: NO	100		
20124	21.	1910	1.000	 100
ARCEDR	74			
8.0-19900	C1122	129 2036 建煤入力系统	NH N	-
19% #0	au			
AC	B1504 (L)	任何化才系统贯考		
8CM	20 G			

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店またはカイセ株式会社製造サービス課 にお問い合わせください。





●保存先を「SK-8412」にして [保存] をクリック します。

保存して実行(R)

整理 ▼ 新しいフォルダー			10 · (2
☆ お気に入り	名前	更新日時	種類	
A DAME YO	👍 mini	2018/09/18 16:57	ファイル フォル	
	🍌 mitsubishi	2018/09/18 16:57	ファイル フォル	
🧊 ライブラリ	🍌 nissan	2018/09/18 16:54	ファイル フォル	
	🍌 obdii	2018/09/18 16:54	ファイルフォル	
🏴 コンピューター	keports	2018/09/18 16:39	ファイルフォル	
🌉 ローカル ディスク (C:)	🍌 rsc	2018/09/18 16:53	ファイルフォル	
→ ボリューム (E:)	🍌 subaru	2018/09/18 16:54	ファイル フォル	
SK-8412 (E-)	🗼 support	2018/09/18 16:58	ファイル フォル	
- SNOTIE ((1))	📕 suzuki	2018/09/18 16:53	ファイル フォル	
	🔒 toyota	2018/09/18 16:55	ファイル フォル	
📭 ネットワーク	🔒 ud	2018/09/18 16:59	ファイル フォル	
	🌲 vw	2018/09/18 16:55	ファイル フォル	
	% sk-8412	2018/09/19 15:47	アプリケーション	
	•	ш		÷
ファイル名(N): sk-8412				
ファイルの標環(T): アプリケー・	ション			

●同じ名前のファイルがある場合は次のメッセージ が表示されますので [はい] をクリックします。

sk-8412.e	xe は既に存在します。	
上書きしま	すか?	
	C	
	(\$6)(Y)	いいえ(N)

●保存が完了したらアップデート手順(10 ページ) を参考にアップデートを行ってください。



処置2 フォーマットする

アプリケーションを最新にしても書込みができない 時は、フォーマットすることにより正常に書込みが できる場合があります。

この作業は先に必要なファイルをパソコンにバック アップ(保存)することから行います。

- 10 ページの①-②を行って「SK-8412」フォル ダを開きます。
- 2 以下のファイルをコピーしてパソコンのデスク トップなどに保存してください。
 - ・sk-8412(sk-8412.exe)(アプリケーション)
 - ・pass(pass.ini)(構成設定ファイル)
 - ・Reports(フォルダ)



※「Reports」フォルダは、故障コードやデータ表示などで [保 存]を実行した場合にファイルが保存されているフォルダ です。保存していなければコピーする必要はありません。 ファイルのバックアップ(保存)が完了したら フォーマットを開始します。

「SK-8412」を右クリックして「フォーマット」を クリックします。

※フォーマットするドライブにご注意ください。



④ フォーマットの画面が表示されますので、[開始] をクリックします。



フォーマットの確認メッセージが表示されます。
 確認して [OK] ボタンをクリックします。

4	警告: フォーマッ	トするとこのディ.	スクのすべてのデ	ータが消去されま	J .
<u></u>	ディスクをフォー	-マットするには [OK] を、終了する	場合は [キャンセ	ル]をクリックして
	ください。				

フォーマット完了のメッセージが表示されます。
 [OK] ボタンをクリックします。

×
ОК

フォーマットが完了すると、通常のリムーバブル ディスクのアイコンに変わります。



③ 先程バックアップ(保存)したファイルを右クリックして「切り取り」または「コピー」します。

	開く(O)	
R	共有(H)	•
	解凍(X))
	圧縮(U)	•
2	送る(N)	•
-[切り取り(T)	
	⊐ピー(C)	
	ショートカットの作成(S)	
	削除(D)	
sl	名前の変更(M)	
	プロパティ(R)	

フォーマットが完了した「SK-8412」(リムーバブルディスク)に右クリックしてファイルを貼り付けます。

整理 ▼ 共有 ▼ 新しいフォルダー	- I • I 0		
このフォルタ	ダーは空です。		
	表示(V) 並べ替え(O) グループで表示(P) 最新の情報に更新(E)		
0 個の項目	このフォルダーのカスタマイズ(F)		
	貼り付け(P)		
	ショートカットの貼り付け(S) 元に戻す - コピー(U) Ctrl-	+Z	
	共有(H)		
	新規作成(X)		
	プロバティ(R)		



処置3 修復をする

パソコンに接続する際に表示したメッセージで、
 「スキャンおよび修復」をクリックします。



②「ディスクのチェック」*が表示されましたら、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」 にチェックを入れ、「開始」をクリックしてください。

※OS により「エラーチェック」と表示されます。「エラー チェック」と表示された場合は「ドライブの修復」 をクリックしてください。



正常にスキャンされました。

[閉じる] をクリックして終了します。



品質保証規定

保証期間:ユーザー登録から1年間

期間終了後1か月以内にアップデート延長を申し込みされた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。 アップデートおよび保証期間は SK-8412 の電源を入れていただき、「本体 ID」からご確認いただけます。



- 7.その他、当社の責任とみなされない故障。
- 8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ・修理品の送付先

カイセ株式会社

製造サービス課

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 TEL(0268)35-1602 / FAX(0268)35-5515 / Email : service@kaise.com

※車両整備の技術的なお問い合わせは、株式会社日立オートパーツ&サービスの故障診断サポートセンター(有料) をご利用ください。

ホームページのご案内

1. SK-8412製品情報ページ

製品情報の閲覧や製品カタログ(PDF)、取扱説明書(PDF)などのダウンロード/印刷が可能です。

SK-8412製品情報ページURL

https://www.kaise.com/j_car_sk8412.html



カイセトップページ(https://www.kaise.com/japan.htm)から、製品情報をプルダウン → 自動車用テスターをクリック → 作業サポート付きコードリーダーをクリックでもアクセスできます。



〒386-0156 長野県上田市林之郷422 TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603 E-mail service@kaise.com